

神納地域まちづくり協議会
平成 29 年度 通常総会
議 案 書



日 時：平成 29 年 4 月 13 日（木）

午後 7 時から

会 場：有明集落開発センター

神納地域まちづくり協議会 平成 29 年度通常総会 次第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議長の選出

4 議事録署名人の選任

5 総会の成立報告

6 議事

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告及び収支決算の承認について

第 2 号議案 平成 29 年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認について

7 議長退任

8 閉 会

第 1 号議案

平成 28 年度事業報告及び収支決算の承認について

平成 28 年度事業報告及び収支決算について、別紙により承認を求めます。

平成 29 年 4 月 13 日提出

神納地域まちづくり協議会 会 長 鈴木 一昭

平成 29 年 4 月 13 日承認

神納地域まちづくり協議会 総会議長 佐藤 健

平成28年度 事業報告

区 分	事業名、取組項目	実施時期	対象・人員	取 組 内 容	備 考
1 地域の課題解決並びに地域振興及び住民交流	(1) 集落支援事業				
	① 山田、岩野沢集落 【収穫感謝祭】	11月13日	73名	集会所を会場に新潟のお笑い集団NAMARAをお招きして、お笑い収穫感謝祭を行いました。お笑いを通して子供からお年寄りまでの交流と親睦を図りました。	
	② 飯岡集落 【環境整備、観桜会】	4月24日	90名	集落内の環境整備を目的に空き缶拾いとゴミ拾いを行いました。その後、散策しながら堤の満開の桜を満喫しました。また、公会堂においては、ゲームやカラオケなどして区民の親睦を図りました。	
	③ 桃川集落 【桃川甚句盆踊り、カラオケ大会】	8月15日	240名	公民館を会場に子供からお年寄りまで集まって、桃川甚句盆踊りとカラオケ大会を行いました。年々盆踊りも定着してきて保存会も発足し、集落の一体感と集落の活路が見えてきた盆踊りとなりました。	
	④ 河内集落 【ホタルの里づくり】	5月21日 ～ 8月7日	70名	河内公会堂を会場に宿田集落の方を迎えホタルの鑑賞会を開催し、集落内外の親睦と交流を図りました。また、昨年に引き続き草刈り、カワニナの放流、案内看板・のぼり旗の設置も行いました。	
	⑤ 南大平集落 【第4回鯉っちゃんフェスティバル】	4月30日 ～ 6月5日	73名	南大平ダム湖湖上に公園利用者や登山者を歓迎して、鯉のぼりを張りました。また、集落の公園を会場に第4回鯉っちゃんフェスティバルを開催し、ゲームやクイズをして世代間の交流と親睦を図りました。	
	⑥ 指合集落 【統一（合）賽ノ神】	1月9日	50名	隣組等により執り行っていた賽ノ神を、集落センター前の一会場につくり「家内安全」「無病息災」「五穀豊穡」などたくさんの願いを込め、併せて、区民の交流と親睦を図りました。	

1 地域 の課題解 決並びに 地域振興 及び住民 交流	⑦ 殿岡集落 【殿岡灯籠流 し】	8月15日	100名	集落内を流れる石川に各戸で思 いを書き込んだ灯籠を流し、先祖 の霊に思いをはせました。また、 川べりにぼんぼりと灯籠を配置し て、幻想的な雰囲気を作り出しま した。	
	⑧ 小出集落 【環境整備及び 集落交流会】	11月6日	89名	農村公園と水辺広場を中心に区民 一同が集まって、環境整備と芝桜の 植栽を行いました。その後、集落セ ンターを会場に手作りのものでの懇 親会、全員参加によるゲーム等行い 交流と親睦を図りました。	
	⑨ 有明集落 【納涼盆踊り大 会】	8月16日	240名	集落センター前を会場に区民一同 のほか、帰省客や他集落の若者も含 め、例年以上の納涼盆踊りとなりま した。また、今年も婦人会・消防団 による出店は、お年寄りや子ども達 に大好評でした。	
	(2)地域交流事業				
	神納地域大運動 会	10月10日	459名	健康増進と地域交流をいっそう深 めるため、神納中学校体育館を会場 に運動会を行いました。今年は、新 種目としてパン食いリレーと綱引き を取り入れ好評を得ました。	
2 健康 及び福祉 の増進	(1)福祉事業				
	神林地区敬老会	6月18日	対象者425名 出席者142名	神林地区敬老会に出席されました 敬老者に、お祝いのお菓子の提供と お世話をしました。	
3 知識 及び情報 の収集	(1)研修事業				
	星空観望会	8月7日	42名	星についての知識を深めるため、 地元指合集落の天体写真家・天文イ ラストレーター沼澤茂美先生を天文 台にお招きして「夏の星座と星につ いて」学びました。	
	まちづくり研修 会	11月22日	23名	まちづくりの推進を図るため、N PO法人都岐沙羅パートナーズセン ターの斎藤主税事務局長を有明集落 開発センターにお招きして「他地域 のまちづくりの現状と課題につい て」学びました。	
	健康講話	2月13日	50名	健康づくりを目的に、地元有明集 落の鈴木医院院長野沢悟先生を有明 集落開発センターにお招きして「ピ ロリ菌除菌と胃がん予防について」 学びました。	

【会議等の開催】

■通常総会

- 平成28年 4 月14日 平成28年度通常総会 出席者23名、委任2名
- ・平成27年度事業報告及び収支決算の承認について
 - ・平成28年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認について
 - ・神納地域まちづくり協議会役員の承認について

■運営委員会

- 平成28年 4 月28日 第1回運営委員会 出席者17名
- ・今年度の事業について
- 6 月 9 日 第2回運営委員会 出席者16名
- ・星空観望会について
 - ・運動会について
- 7 月13日 第3回運営委員会 出席者16名
- ・神林地区敬老会について
 - ・星空観望会について
 - ・運動会について
- 8 月 4 日 第4回運営委員会 出席者18名
- ・星空観望会について
 - ・運動会について
- 9 月 8 日 第5回運営委員会 出席者17名
- ・運動会について
 - ・まちづくり研修会について
- 10月 6 日 第6回運営委員会 出席者15名
- ・運動会について
 - ・まちづくり研修会について
- 11月10日 第7回運営委員会 出席者15名
- ・まちづくり研修会について
 - ・健康講話について
- 12月15日 第8回運営委員会 出席者14名
- ・健康講話について
 - ・集落支援事業について
- 平成29年 1 月12日 第9回運営委員会 出席者14名
- ・平成28年度収支決算見込みについて
 - ・平成29年度収支予算（素案）について
 - ・平成29年度事業計画（素案）について
- 2 月 9 日 第10回運営委員会 出席者17名
- ・健康講話について
 - ・平成29年度収支予算（素案）について
 - ・平成29年度事業計画（素案）について
 - ・平成29年度通常総会について
- 3 月18日 第11回運営委員会 出席者14名

- ・平成29年度通常総会の議案書について
- ・平成29年度通常総会の役割分担について

■評議委員会

- 平成28年11月29日 第1回評議委員会 出席者9名
- ・集落支援事業費について

■検討会

- 平成28年6月1日 ・星空観望会について 出席者5名
- 7月28日 ・運動会について 出席者6名
- 9月29日 ・まちづくり研修会について 出席者7名
- 12月1日 ・健康講話について 出席者5名

■神林地区まちづくり協議会連絡会議

- 平成28年11月24日 第1回神林地区まちづくり協議会連絡会議 会長出席
- ・神林地区まちづくり協議会連絡会議設置要領の制定について
 - ・5地域協議会合同研修会について
 - ・今後のまちづくり協議会の方向性について（意見交換）
- 平成29年1月22日 第2回神林地区まちづくり協議会連絡会議 会長・副会長出席
- ・5地域協議会合同研修会について
 - ・今後のまちづくりの協議会の方向性について（意見交換）
- 2月19日 神林地区まちづくり協議会合同研修会 会長・副会長ほか運営委員12名出席
- ・講演「これからのまちづくり ～神林地区の現状と課題～」
 - ・意見交換会

■その他会議等

- 平成28年6月21日 第1回神林地区地域ケア会議 会長出席
- 7月25日 第2回神林地区地域ケア会議 会長出席
- 11月13日 第30回新潟県ふるさとづくり大会in村上市 会長・副会長ほか評議委員2名、運営委員1名出席
- 11月24日 第1回神納中学校区郷育会議懇談会 会長出席
- 11月25日 第3回神林地区地域ケア会議 会長出席
- 平成29年1月17日 第2回神納中学校区郷育会議懇談会 会長出席
- 2月10日 平成28年度神林地区内各種団体懇談会 会長出席
- 2月24日 第4回神林地区地域ケア会議 会長出席

【まちづくり新聞の発行】

- 平成28年6月1日 神納地域版第17号発行
- 10月14日 神林地区版第5号発行
- 平成29年3月15日 神林地区版第6号発行

【まちづくり事業紹介写真の展示】

- 平成29年3月31日 神納小学校、神納中学校、各集落センター

平成28年度 収支決算

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	補正額	補正後 予算額①	決算額②	比較②-①	説 明
1 地域まちづくり交付金	1,879,000	0	1,879,000	1,879,000	0	
2 繰越金	210,544	0	210,544	210,544	0	前年度繰越金
3 諸収入	456	0	456	53	△ 403	利子
合 計	2,090,000	0	2,090,000	2,089,597	△ 403	

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	流用額	流用後 予算額①	決算額②	比較②-①	説 明
1 組織運営経費	574,000	0	574,000	509,428	△ 64,572	
1 役員・委員報酬	347,000	0	347,000	347,000	0	会長 32,000円 副会長 22,000円 監事 2,000円×2名 委員 17,000円×17名
2 費用弁償	30,000	0	30,000	8,000	△ 22,000	新潟県ふるさとづくり大会参加 500円×3名+1,000円×2名 評議委員会出席 500円×9名
3 会議費	37,000	0	37,000	30,517	△ 6,483	会場借上料 500円×13回 お茶代 24,017円
4 事務費	44,000	0	44,000	43,987	△ 13	事務用品 40,099円 振込手数料 3,888円
5 印刷製本費	116,000	0	116,000	79,924	△ 36,076	まちづくり新聞1回発行 6,844円 合同新聞2回発行 73,080円
2 集落支援事業費	968,000	0	968,000	968,000	0	山田・岩野沢 100,000円 飯岡 100,000円 桃川 130,000円 河内 80,000円 南大平 100,000円 指合 58,000円 殿岡 130,000円 小出 120,000円 有明 150,000円
3 地域交流事業費	250,000	0	250,000	247,495	△ 2,505	運動会開催費 233,455円 ハンド型拡声器購入 14,040円
4 福祉事業費	80,000	0	80,000	79,920	△ 80	敬老会経費 79,920円
5 研修事業費	173,000	0	173,000	172,950	△ 50	星空観望会開催費 112,312円 まちづくり研修会開催費 20,475円 健康講話開催費 40,163円
6 予備費	45,000	0	45,000	0	△ 45,000	
合 計	2,090,000	0	2,090,000	1,977,793	△ 112,207	

収入合計

2,089,597 円

支出合計

1,977,793 円

次年度繰越額

111,804 円

監査報告書

神納地域まちづくり協議会の平成 28 年度事業報告書及び収支決算書について、通帳、出納簿並びに関係書類を監査した結果、適正に処理、記載されていると認める。

平成 29 年 3 月 31 日

監 事 尾 牙 乙 彦 

監 事 小 田 栄 吉 

第 2 号議案

平成 29 年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認について

平成 29 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について、別紙案により承認を求めます。

平成 29 年 4 月 13 日提出

神納地域まちづくり協議会 会 長 鈴木 一昭

平成 29 年 4 月 13 日承認

神納地域まちづくり協議会 総会議長 左藤 健

平成29年度 事業計画

区 分	事業名、取組項目	実施時期	対象・人員	取 組 内 容	備 考
1 地域の課題解決並びに地域振興及び住民交流	(1) 集落支援事業				
	① 山田、岩野沢集落 【収穫感謝祭】	10月下旬	集落全世帯	例年行ってきた芸人による公演がマンネリ化してきたため、本年は、環境整備を目的に球根の植栽作業を行う。その後、交流会を開催し新品種の新之助の試食やゲームをして区民の親睦を図る。 (球根代、材料費等) ◎支援額102,000円	
	② 飯岡集落 【環境整備、観桜会】	4月中旬	集落全世帯	昨年は参加人数が少なかったため、本年は各団体に積極的に参加を促し、環境整備と観桜会を引き続き開催し区民の親睦を図る。 (音響リース代、景品代等) ◎支援額100,000円	
	③ 桃川集落 【集落内環境整備】	6月～7月	集落全世帯	平成25年度に復活した盆踊りも定着し保存会も発足したため、本年からは集落内の公園・神社も含めた環境整備を重点的に行う。また、区民一同に会し、交流会を開催し親睦を図る。 (整備費、公演出演料等) ◎支援額140,000円	
	④ 河内集落 【ホタルの里づくりと観賞会】	6月～7月	集落全世帯	毎年ホタルの生息域が拡大していることから、環境整備の徹底を図り、ホタルの里のPRも引き続き行っていく。また、観賞会を実施し区民の交流を図る。 (のぼり旗・看板製作費等) ◎支援額73,000円	
	⑤ 南大平集落 【第5回鯉つちやフェスティバル】	6月4日	集落全世帯	例年、中高生から30代の参加者が少ないため、年齢層の幅広いメンバーで実行委員会を立ち上げ、老若男女が参加できるイベントを開催し世代間を超えた交流を図る。 (講師謝礼、材料費等) ◎支援額87,000円	
	⑥ 指合集落 【集落統一賽の神】	1月13日	集落全世帯	一会場に融合した一体化の賽の神を作ることで、区民一同の交流と親睦を図る。また、雪上遊戯や屋内での茶話会を開催し、世代間交流を行いながら親近感を深める。 (わら等資材費、レクリエーション代等) ◎支援額101,000円	

1 地域の課題解決並びに地域振興及び住民交流					
	⑦ 殿岡集落 【灯籠祭り】	8月15日	集落全世帯	石川を利用して、一軒一軒の思いを込めた灯籠を流しお盆への思いをはせる。また、本年から数年かけ、お宮様の斜面の整備をして、ぼんぼりを立てお盆の送り火とする。 (整備費、材料費等) ◎支援額96,000円	
	⑧ 小出集落 【環境整備及び収穫感謝祭】	10月15日	集落全世帯	例年、中学生から20代の参加者が少ないため、環境整備の他に収穫感謝祭として若い世代が参加したくなるような催し物や出店を行い子供から年配者までの交流と親睦を図る。 (整備費、材料費等) ◎支援額91,000円	
	⑨ 有明集落 【納涼盆踊り大会】	8月16日	集落全世帯	各種団体との共催で納涼盆踊り大会を開催し区民の他、帰省客や他集落の若者も含め、子供からお年寄りまでの交流と親睦を図る。 (提灯・電球、材料費等) ◎支援額130,000円	
	(2)地域交流事業				
	地域イベントの開催	6月24日 (あじさいまつり)	神納中学校区全世帯	地域の子供を地域の人みんなで育てることを目指し、神納・神納東・西神納地域まちづくり協議会合同であじさいまつりに参画する。	
		10月8日 (運動会)	地域全世帯	地域での交流を深めるため、地域全体でのイベントとして運動会を開催する。	
2 健康及び福祉の増進	(1)福祉事業				
	神林地区敬老会への参画	6月17日	神納地域対象者	神林地区全体での敬老会へ参画し、敬老者への支援を行う。	
3 知識及び情報の収集	(1)研修事業				
	研修及び講演会などの開催	8月 (体験活動)	地域全世帯	地域の自然を活かした取組みとして、ダム湖公園を会場に子供を対象とした体験活動研修を実施する。	
		11月 (講演会)	地域全世帯	健康づくりを目的として、大人を対象とした講演会を実施する。	
	(2)アンケート調査				
	住民アンケート	未定 (前期)	中学生以上全員を対象	第3期まちづくり計画策定に向け、世代別・男女別の住民ニーズを「見える化」し、地域の課題を検討していくため、地域内の中学生以上全員を対象としたアンケート調査を実施する。	

平成29年度 収支予算

収 入

(単位：円)

科 目	本年度	前年度	比 較	説 明
1 地域まちづくり交付金	1,851,000	1,879,000	△ 28,000	人口按分による減額(1,869人→1,801人)
2 繰越金	111,804	210,544	△ 98,740	前年度繰越金
3 諸収入	196	456	△ 260	利子等
合 計	1,963,000	2,090,000	△ 127,000	

支 出

(単位：円)

科 目	本年度	前年度	比 較	説 明
1 組織運営経費	533,000	574,000	△ 41,000	
1 役員・委員報償	347,000	347,000	0	会長 32,000円 副会長 22,000円 監事 2,000円×2名 委員 17,000円×17名
2 費用弁償	25,000	30,000	△ 5,000	会議出席等
3 会議費	32,000	37,000	△ 5,000	会場借上料、お茶代等
4 事務費	39,000	44,000	△ 5,000	事務用品、振込手数料等
5 印刷製本費	90,000	116,000	△ 26,000	まちづくり新聞印刷費
2 集落支援事業費	920,000	968,000	△ 48,000	事業計画書参照
3 地域交流事業費	240,000	250,000	△ 10,000	イベント等の開催費
4 福祉事業費	80,000	80,000	0	敬老会の経費
5 研修事業費	160,000	173,000	△ 13,000	研修会等の開催費
6 予備費	30,000	45,000	△ 15,000	
合 計	1,963,000	2,090,000	△ 127,000	

※ 予算の支出に不足が生じた場合は、他科目より流用できるものとする。

神納地域まちづくり協議会 運営委員、評議委員、代議員名簿

■運営委員

(敬称略)

集 落	氏 名	集 落	氏 名
岩野沢	高 橋 友 和	南大平	大 矢 順 次
山 田	近 健 悦	指 合	鈴 木 一 昭
山 田	蟹 井 拓	指 合	忠 勇 吉
飯 岡	小 田 徹	殿 岡	石 田 正 樹
飯 岡	池 田 芳 章	殿 岡	板 垣 義 栄
桃 川	佐 藤 俊	小 出	小 田 敏 広
桃 川	内 山 雅 善	小 出	近 和 之
河 内	齋 藤 与志美	有 明	鈴 木 忍
河 内	渡 邊 博 之	有 明	佐 藤 雅 晴
南大平	鈴 木 重 美		

■評議委員

(敬称略)

集 落	氏 名	集 落	氏 名
岩野沢	高 橋 芳 文	南大平	大 矢 良 栄
山 田	高 野 欣 弥	指 合	薄 田 清
飯 岡	小 田 佐 敏	殿 岡	鈴 木 竹 二
桃 川	尾 方 己 西	小 出	石 黒 隆 平
河 内	齋 藤 裕 助	有 明	山 田 雅 夫

■代議員

(敬称略)

集 落	氏 名	集 落	氏 名
山田・岩野沢	蟹 井 勤 次	南大平	大 矢 均
山田・岩野沢	近 秀 一	指 合	忠 芳 夫
飯 岡	小 田 宏 明	指 合	忠 昭 平
飯 岡	小 田 修 司	殿 岡	佐 藤 克 己
桃 川	近 雅 博	小 出	佐 藤 健
桃 川	白 木 誠	小 出	本 間 平 麿
河 内	渡 邊 矢 一	有 明	須 貝 美佐子
河 内	村 田 秀 夫	有 明	佐 藤 拓 也

神納地域まちづくり協議会規約

平成24年 3 月15日 制定

平成25年 4 月18日 改正

(目的)

第1条 本会は、地域に暮らす住民がお互い知恵を出し合い、協力し合って、地域の将来像を考え、その実現に向けて行動することによって、活気と魅力あふれる元気な地域を形成していくことを目的とする。

(名称)

第2条 本会は、神納地域まちづくり協議会と称する。

(事務所)

第3条 本会の主たる事務所は、神林支所地域振興課自治振興室（村上市岩船駅前56番地）に置く。

(事業)

第4条 本会は、第1条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 地域の課題解決、地域振興及び住民交流に関すること。
- (2) 健康及び福祉の増進に関すること。
- (3) 安全及び安心に関すること。
- (4) 環境の保全及び改善に関すること。
- (5) 地域資源の有効活用に関すること。
- (6) 地域の産業振興に関すること。
- (7) コミュニティビジネス等地域経営に関すること。
- (8) その他、まちづくりに関し、特に必要なこと。

(構成)

第5条 本会は、神納地域に居住する人及び神納地域で事業を実施する個人若しくは法人又は神納地域で活動する各種団体をもって構成する。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 監事 2名

2 会長、副会長は、運営委員の互選により選出し、総会の承認を得る。

3 監事は、運営委員会において構成員の中から選出し、総会の承認を得る。

(役員の職務)

第7条 会長は、本会を代表し、会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故その他やむをえない事情により職務を遂行できないときは、その職務を代行する。

3 監事は、本会の事業及び会計の執行状況を監査し、総会に報告する。

(役員の任期)

第8条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 補欠により選出された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 役員は、任期終了後においても後任者が就任するまでの間は、その職務を行うものとする。

(会議)

第9条 本会の会議は、総会、運営委員会及び評議委員会とする。

(総会)

第10条 総会は、評議委員、代議員をもって構成する最高の議決機関であり、本規約に定める事項のほか、本会の目的を達成するために必要な事項を審議決定する。

2 総会は、通常総会及び臨時総会とし、会長が招集する。

3 通常総会は、毎年度1回開催し、臨時総会は、会長が必要と認めたとき、又は、評議委員、代議員の過半数から請求があった場合に開催するものとする。

4 総会の議長は、総会において出席評議委員、代議員の中から選出する。

5 総会は、委任状を含めた評議委員、代議員の過半数の出席により成立するものとする。

6 総会の議事は、出席評議委員、代議員の過半数で議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

7 総会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 地域まちづくり計画の策定及び変更に関すること。
- (2) 規約の制定及び改正に関すること。
- (3) 会長、副会長、監事の承認に関すること。
- (4) 事業計画、事業報告、予算及び決算に関すること。
- (5) その他、重要事項に関すること。

(総会の議事録)

第11条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
 - (2) 出席者数（表決委任者を含む）
 - (3) 開催目的、審議事項及び議決事項
 - (4) 議事の経過の概要及びその結果
 - (5) 議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録は、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名押印し、事務局に備えておかなければならない。

(運営委員会)

第12条 運営委員会は、次項によって選出された運営委員をもって構成し、会長が必要に応じ招集し、議長となる。

2 運営委員の選出については別に定める。

3 運営委員会は、運営委員の2分の1以上の出席により成立するものとする。

4 運営委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 総会に付議する事項
- (2) 本会の事業の実施運営に関する事項
- (3) 地域まちづくり計画案の策定及び調整
- (4) 緊急を要する重要事項
- (5) その他必要な事項

5 運営委員会は、第4項第4号を決議することができる。ただし、決議事項は、次の総会において報告し、その承認を受けなければならない。

6 運営委員会の中に、必要に応じて専門部会を設置することができる。専門部会の会務は、運営委員会で別に定める。

7 会長は、必要あると認めたときは、評議委員の出席を求め、指導、助言等を受ける事ができる。

8 運営委員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

9 補欠により選出された運営委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(評議委員会)

第13条 評議委員会は、本会を構成する集落区長をもって構成する。区長が運営委員となっている集落は、代理者とする。

2 評議委員は総会において、運営委員会が提案する議案を審議し、議決する。

3 評議委員会は、本会の運営に係る指導、助言等を行うものとする。

(代議員)

第14条 代議員は総会において、運営委員会が提案する議案を審議し、議決する。

2 代議員の選出については別に定める。

3 代議員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

4 補欠により選出された代議員の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務局)

第15条 本会の円滑な運営及び事業実施に資するため、事務局を置く。

2 事務局には、事務局員を置く。

3 事務局員は、本会の事務及び会計事務を処理する。

(会計)

第16条 本会の運営等に係る経費は、地域まちづくり交付金、その他収入をもって充てる。

2 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

3 年度開始後に予算が総会において議決されていない場合においては、会長は、総会において予算が議決される日までの間は、前年度の予算を基準にして収支をすることができる。

(事業計画及び収支予算)

第17条 本会の事業計画及び収支予算は、総会の議決を得なければならない。

(監査)

第18条 会長は、事業年度終了後、事業報告書、収支決算書及び基金台帳を作成して監事に提出し、その監査を受けなければならない。

2 監事は、前項の書類を受領したときは、これを監査し、監査報告書を作成して会長に報告するとともに、会長はその監査報告書を総会に提出しなければならない。

(規約の変更)

第19条 この規約は、総会において総会出席者の3分の2以上の議決を得なければ変更することはできない。

(書類及び帳簿の備付け)

第20条 本会の事務所には、本会の事業実施に係る書類、収入及び支出に関する証拠書類並びに帳簿等活動に関する全ての書類を備え付け、公開するものとする。

(個人情報保護の取扱い)

第21条 本会が各種取り組みを推進するため必要とする個人情報の取得、利用、提供及び管理については、適正に運用するものとする。

(その他)

第22条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が運営委員会に諮り、別に定める。

附 則

この規約は、平成24年3月15日から施行する。

改正後の規約は、平成25年4月18日から施行する。

神納地域まちづくり協議会運営委員等選出に関する内規

(目的)

第1条 この内規は、神納地域まちづくり協議会規約第12条第2項及び第14条第2項の規定に基づき、必要な事項を定めるものとする。

(運営委員の選出)

第2条 運営委員は、各集落区長が推薦する者とする。

2 運営委員会の委員数は、別表1のとおりとする。

(代議員の選出)

第3条 代議員は、各集落区長が推薦する者とする。

2 代議員数は、各集落から2名以内とする。ただし、総会で認めた場合はこの限りではない。

3 運営委員、評議委員は、代議員になることができない。

附 則

この内規は、平成24年3月15日から施行する。

別表1 運営委員数（第12条関係）

集 落 名	人 数
岩野沢	1
山 田	2
飯 岡	2
桃 川	2
河 内	2
南大平	2
指 合	2
殿 岡	2
小 出	2
有 明	2
合 計	19

(参 考 資 料)

平成28年度 まちづくり集落支援事業

集 落 名	山田・岩野沢	事業内容	集会所を会場に新潟のお笑い集団NAMARAをお招きして、お笑い収穫感謝祭を行いました。お笑いを通して子供からお年寄りまでの交流と親睦を図りました。
事 業 名	収穫感謝祭		
開 催 日	平成28年11月13日		
参加人数	73名		



平成28年度 まちづくり集落支援事業

集 落 名	飯岡	事業内容	集落内の環境整備を目的に空き缶拾いとゴミ拾いを行いました。その後、散策しながら堤の満開の桜を満喫しました。また、公会堂においては、ゲームやカラオケなどして区民の親睦を図りました。
事 業 名	環境整備、観桜会		
開 催 日	平成28年4月24日		
参加人数	90名		



平成28年度 まちづくり集落支援事業

集 落 名	桃川	事業内容	公民館を会場に子供からお年寄りまで集まって、桃川甚句盆踊りとカラオケ大会を行いました。年々盆踊りも定着してきて保存会も発足し、集落の一体感と集落の活路が見えてきた盆踊りとなりました。
事 業 名	桃川甚句盆踊り、カラオケ大会		
開 催 日	平成28年8月15日		
参加人数	240名		



平成28年度 まちづくり集落支援事業

集 落 名	河内	事業内容	河内公会堂を会場に宿田集落の方を迎えホタルの鑑賞会を開催し、集落内外の親睦と交流を図りました。また、昨年に引き続き草刈り、カワニナの放流、案内看板・のぼり旗の設置も行いました。
事 業 名	ホタルの里づくり		
開 催 日	平成28年5月21日～8月7日		
参加人数	70名		



平成28年度 まちづくり集落支援事業

集 落 名	南大平	事業内容	南大平ダム湖湖上に公園利用人や登山者を歓迎して、鯉のぼりを張りました。また、集落の公園を会場に第4回鯉っちゃフェスティバルを開催し、ゲームやクイズをして世代間の交流と親睦を図りました。
事 業 名	第4回鯉っちゃフェスティバル		
開 催 日	平成28年4月30日～6月5日		
参加人数	73名		



平成28年度 まちづくり集落支援事業

集 落 名	指合	事業内容	隣組等により執り行っていた賽ノ神を、集落センター前の一会場につくり「家内安全」「無病息災」「五穀豊穡」などたくさんの願いを込め、併せて、区民の交流と親睦を図りました。
事 業 名	統一（合）賽ノ神		
開 催 日	平成29年1月9日		
参加人数	50名		



平成28年度 まちづくり集落支援事業

集 落 名	殿岡	事業内容	集落内を流れる石川に各戸で思いを書き込んだ灯籠を流し、先祖の霊に思いをはせました。また、川べりにぼんぼりと灯籠を配置して、幻想的な雰囲気醸し出しました。
事 業 名	殿岡灯籠流し		
開 催 日	平成28年8月15日		
参加人数	100名		



平成28年度 まちづくり集落支援事業

集 落 名	小出	事業内容	農村公園と水辺広場を中心に区民一同が集まって、環境整備と芝桜の植栽を行いました。その後、集落センターを会場に手作りのものので懇親会、全員参加によるゲーム等行い交流と親睦を図りました。
事 業 名	環境整備及び集落交流会		
開 催 日	平成28年11月6日		
参加人数	89名		



平成28年度 まちづくり集落支援事業

集 落 名	有明	事業内容	集落センター前を会場に区民一同のほか、帰省客や他集落の若者も含め、例年以上の納涼盆踊りとなりました。また、今年も婦人会・消防団による出店は、お年寄りや子ども達に大好評でした。
事 業 名	納涼盆踊り大会		
開 催 日	平成28年8月16日		
参加人数	240名		



平成28年度 まちづくり福祉事業

地 区 名	神納地区	事業内容	神林地区敬老会に出席されました敬老者に、お祝いのお菓子の提供とお世話をして喜ばれました。
事 業 名	神林地区敬老会		
開 催 日	平成28年6月18日		
参加人数	神納地域（142名出席）		



平成28年度 まちづくり研修事業

地 域 名	神納地域	事業内容	星についての知識を深めるため、地元指合集落の天体写真家・天文イラストレーター沼澤茂美先生を天文台にお招きして「夏の星座と星について」学びました。
事 業 名	星空観望会		
開 催 日	平成28年8月7日		
参加人数	42名		



平成28年度 まちづくり地域交流事業

地 域 名	神納地域	事業内容	健康増進と地域交流をいっそう深めるため、神納中学校体育館を会場に運動会を行いました。今年は、新種目としてパン食いリレーと綱引きを取り入れ好評を得ました。
事 業 名	神納地域大運動会		
開 催 日	平成28年10月10日		
参加人数	459名		



平成28年度 まちづくり研修事業

地 域 名	神納地域	事業内容	まちづくりの推進を図るため、NPO法人都岐沙羅パートナーズセンターの斎藤主税事務局長を有明集落開発センターにお招きして「他地域のまちづくりの現状と課題について」学びました。
事 業 名	まちづくり研修会		
開 催 日	平成28年11月22日		
参加人数	23名		



村上市	1995年	2005年	2015年	2025年	2035年
人口 (A)	75,591	70,705	62,442	53,410	45,060
0～14歳	12,092	9,451	6,609	4,738	3,728
15～64歳(A)	46,864	40,735	33,578	27,176	22,208
(生産人口)					
65歳～	6,549	20,445	22,167	21,496	19,124
(高齢者率)	22.01%	28.92%	35.55%	40.25%	42.44%
75歳～	6,921	10,320	12,236	12,946	12,455
85歳～(B)	1,527	2,711	4,125	4,926	5,520
※65歳以上の4人1人が要介護3以上/要介護3以上の2人に1人が85歳以上 (2010年国勢調査より)					
A+B	30.6人	15.0人	8.1人	5.5人	4.0人
※2015年の高齢者率 新潟県平均：29.85% 全国平均：26.63%					



平成28年度 まちづくり研修事業

地 域 名	神納地域	事業内容	健康づくりを目的に、地元有明集落の鈴木医院院長野沢悟先生を有明集落開発センターにお招きして「ピロリ菌除菌と胃がん予防について」学びました。
事 業 名	健康講話		
開 催 日	平成29年2月13日		
参加人数	50名		



神納地域まちづくり計画

1 地域の特色、課題

神納地域は、神林地区の東部に位置し、岩野沢、山田、飯岡、桃川、河内、南大平、指合、殿岡、小出、有明の10集落が、平野部から山間部に点在しています。

自然環境が豊かな地域で、平野部は大部分を広大な水田が占めています。山間部には大平山、木原木山があり、特に大平山は登山道が整備され、付近は星空がきれいに見える地域の日本の上位にランクインしたところです。そこに天体観測施設のポーラースター神林や南大平ダム湖公園が整備されており、登山や夏場のキャンプ、星空観測（定期公開）などに利用されています。また、石川、百川2本の川が流れ、上流ではホタルの舞う清流域となっています。

主な産業は農業で、圃場整備された水田での稲作が盛んに行われており、神林地区の岩船産コシヒカリの主要産地になっていますが、年々農業従事者数は減少しています。

地域の人口は、住民基本台帳で比較すると平成24年1月1日の2,026人から平成27年1月1日の1,924人と102人（減少率5.0%）減少しており、子供の人口も年々減少しています。

各集落では、平成24年度から「市民協働のまちづくり」が始まり、集落内での交流会などを通じて、年々子供からお年寄りまでの交流と親睦が少しずつ図られてきていますが、依然として少子高齢化が進む中、若い世代での地域コミュニティ活動への参加意識は希薄化してきており、今後、更なる地域行事への参加と住民意識の向上が課題となっています。

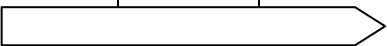
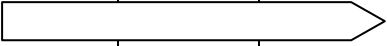
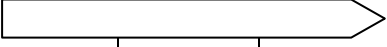
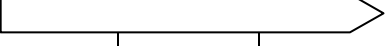
2 地域まちづくりの基本方針、将来像（目標年度：平成29年度）

恵まれた地域の自然を活かし、地域内の交流をいっそう深めるとともに、みんなで協力し支え合いながら、安心して暮らせるまちづくりを目指す。

3 具体的な取り組みの方向性、実施事業等（計画年度：平成27年度～平成29年度）

基本方針	取 り 組 み の 方 向 性
恵まれた地域の自然を活かし、地域内の交流をいっそう深めるとともに、みんなで協力し支え合いながら、安心して暮らせるまちづくりを目指す。	・引き続き環境整備や防災活動などこれまでの集落での取り組みを重視し、集落内での交流会などを通じて交流を図り、住民意識の向上と参加者の増を図る。 ・地域での交流を深めるため、地域全体でのイベントを開催する。 ・まちづくりを進めるための情報収集活動として、視察や講演会などの研修を開催する。 ・神林地区全体での敬老会へ参画する。

4 事業計画年度

基本方針	事業項目	実施年度			備 考
		27	28	29	
恵まれた地域の自然を活かし、地域内の交流をいっそう深めるとともに、みんなで協力し支えあいながら、安心して暮らせるまちづくりを目指す。	集落内での交流会の開催				
	地域全体でのイベントの開催				
	視察や講演会などの研修を開催				
	敬老会への参画				

神納地域まちづくり協議会

村上市神林支所地域振興課内

〒959-3492

村上市岩船駅前 56 番地

電話・告知端末：66-6122（直通）

FAX：66-6110